

第7回平成30年 美しい県土づくり大賞



保存版 VL30. 11. 9

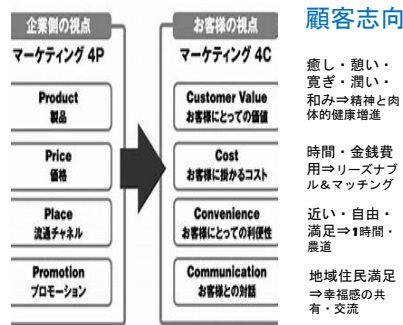
野草のさと大月 加工センター企業組合

私達の美しい 県土づくりの 活動記録。

遊休農地の有効活用

↓
景観

↓
交流人口の増加



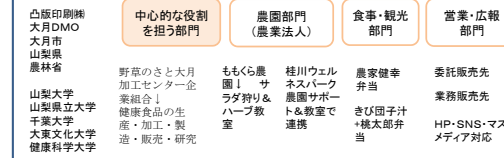
1. 遊休農地の解消 ⇒ 肥沃な農地の復元(有機無農薬栽培)
2. 地域コミュニティの参画 ⇒ スキルの発揮 ⇒ 健康寿命日本一継続
3. 費用の最小化&出先の安定的確保 ⇒ マネジメントの長期安定化

景観⇒企画

【実施体制】

【実施組織】
野草のさと大月加工センター企業組合⇒「ももくら農園」事業部

【連携団体】
産学官民



【取組内容】

活動の概要 目的
①毎年拡大する遊休農地の解消に向けて、2012年より、本格的に取り組みを開始する。

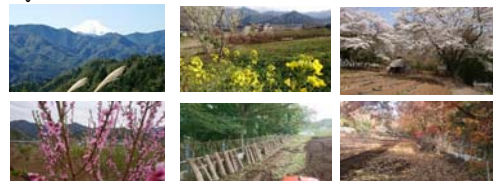
②当法人(企業組合)は、大月市・大月市商工会・大月市農業委員会・大月農協四者での合意である「大月野草のさと構想」に基づき、平成11年1月12日に設立された。当初より6次産業化を目指し進めてきた。

※ 大月野草のさと構想とは、「拡がる遊休農地を野草・薬草等の生産・加工・販売・研究により、出口(事業の採算)のある事業展開を軸に、地域の人材(地域コミュニティの応援を得て、都市住民と地域住民との交流を深め、農業を基礎としながらも、工業・商業・観光業にて地域の活性化の浸透を図る。結果として遊休農地の解消と地域の景観美化・更に地域経済力の底上げを図りつつ、外貨(地域外資金)の流入を促し、地域参加コミュニティの生活の向上と地域経済の底上げを図る」
(第二次野草のさと構想 平成26年3月)

【特徴的な取組】 県民の参加⇒地方創生の原動力



遊休農地⇒里山景観⇒花・山・風・香り ⇒癒し・憩い・和み・潤い



①-1 遊休農地を栽培可能農地へ開拓

景観⇒ゾーン (中央・北・南・西・東)

・現在7haの遊休農地を生産栽培可能農地に切り替えました。
各フィールドの特徴(景色・地質・気候⇒光・温度・風・水)を考慮して、各フィールド別有効活用を施策中です。

- ももくら農園
- 中央ゾーン
観光バス対応
サラダ狩り
農家健康弁当当食材供給
 - 北ゾーン
第2~5回予定の
桃源郷
ハーブ園
自生植物園
 - 南ゾーン
第1回植樹桃源郷
業務用植物供給地
 - 東ゾーン
縄文の里⇒復元中 (37世紀前遺跡指定文化財)
 - 西ゾーン
加工工場
レストラン (厨房)
梅園・見本園等

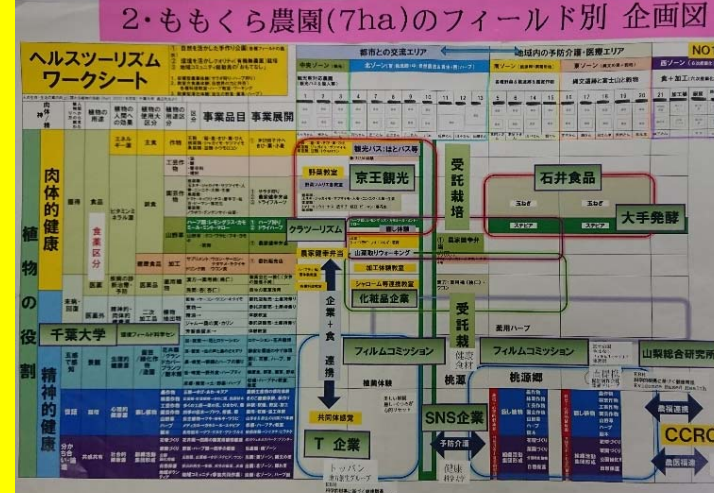


①-2 遊休農地を栽培可能農地へ開拓

景観⇒機能化 (産学官民)

・現在7haの遊休農地を農園NOごと縦列に特徴(景色・地質・気候⇒光・温度・風・水)を考慮して企画。
・横行には肉体的健康・精神的健康を大分類にして、ストーリーと各連携組織等の展開のイメージ図にて企画推進

- ももくら農園連携 (1)
- 産
- ・石井食品 (株)
 - ・シャローム (株)
 - ・製薬会社 (2社)
 - ・京王観光
 - ・クラブツーリズム
 - ・他観光会社
 - ・アルプス食品 (株)
 - ・凸版印刷
 - ・IT企業
- 学
- ・大月短期大学
 - ・山梨大学
 - ・山梨県立大学
 - ・山梨学院大学
 - ・千葉大学
 - ・大東文化大学
 - ・健康科学大学



- ももくら農園連携 (2)
- 官
- ・大月市
 - ・山梨県
 - ・農林省
 - ・総務省
 - ・山梨総合研究所
 - ・山梨観光推進機構
 - ・大月市農業委員会
- 民
- ・大月DMO推進協議会
 - ・大月農業推進協議会
 - ・大月桃太郎連絡会議
 - ・宮谷有志会

①-3 遊休農地を栽培可能農地へ開拓

・ 現在7haの遊休農地を生産栽培可能農地に切り替え、農機具が大きく手助け⇒機械化で農地再生



撤退農家の方々から
↓
様々な農機具
トラクター
自走式草刈り機
ミニトラ各種
コンバイン
脱穀機
⇒ 中古を購入



中央ゾーン堆肥置き場への牛糞搬入



北ゾーン農地バンクでの原野の工事

景観⇒遊休農地の解消



東ゾーンの遊休農地の草刈⇒トラクター投入へ



雑木をほだ木への有効活用



地元スタッフによる植菌作業

①-4 遊休農地を栽培可能農地へ開拓

・ 現在7haの遊休農地を生産栽培可能農地に切り替え、全国発信ひいては世界発信していく。



中央ゾーンから霧にむせぶももくら山を眺望



北ゾーン癒し広場から対岸の小山を眺望

景観⇒広がるロケーション



北ゾーンから葉玉ねぎと初春の広葉樹を展望



中央ゾーンに立てかけられた「きのこ→椎茸・平茸など」のほだ木

②-1 大月市特産指定ハーブも栽培

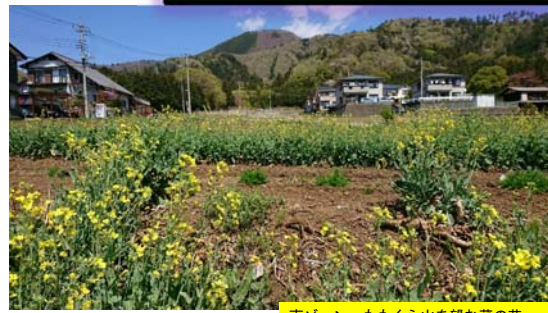
・ 春(2月～4月)菜の花の農園の展開 (イエローのベルト地帯創出)



南ゾーン第1回(2016/3)桃源郷と梅花&菜の花



南ゾーン第1回桃源郷と苗床&麦畑と山のパノラマ



南ゾーン ももくら山を望む菜の花



南ゾーン 玉ねぎ&ジャガイモと霧のももくら山を望む菜の花

景観⇒菜の花と友に

②-2 大月市特産指定ハーブも栽培

◆大月市特産指定(山梨県地域特産指定)のハーブを活用
・ ステビア(5万株)定植済み・ カモミール農園・ 菜の花農園を創出
・ 「花咲か爺さん」シリーズの四季での展開を実施中。

景観⇒ステビアと友に

景観⇒カモミールと友に



中央ゾーン4月カモミール収穫体験



中央ゾーンカモミールとジャガイモ



東ゾーン 薬用ステビア全景



西ゾーン加工センター全景と菜の花



北ゾーンカモミール全景

②-3 大月市特産指定ハーブも栽培

春(4月~5月)
梅園の白花・ピンクの展開・桜(ソメイヨシノ)の白も展開



東ゾーン 縄文時代の竪穴式住居を彩る満開の桜



西ゾーン 沈みゆく月を見守る桜(宮谷工場団地)

景観⇒桜と友に



東ゾーン 白垂の木造校舎を見守る桜(旧宮谷小学校)



北ゾーン 鎌(刀)で畝づくりする女性ボランティアさん



西ゾーン(加工センター脇) 薄雪化粧の梅林

②-4 大月市特産指定ハーブも栽培

・春(5月~6月)上記桃源郷にてピンクの花の展開



南ゾーン第1回(2016/3)薬用桃とピンクの花(南眺望)



南ゾーン第1回(2016/3)薬用桃の実⇒製薬会社の研究所へ

景観⇒薬用桃と友に



南ゾーン第1回(2016/3)薬用桃とピンクの花(近くから撮影)



南ゾーン第1回(2016/3)薬用桃全景(南展望)

③-1 大月市特産指定ハーブも栽培

秋(9月~10月)
・ウコンの花(白)・ステビアの花(白)が展開される。

景観⇒ウコンの花と友に



大月産ウコンの花
実はこの白は「がく」だそうです。花は内側に黄色の花で蜜を蓄えています。！
かつて、東京日本橋の割烹料理にも登場したとか、聞いています。

北ゾーン(ハーブエリア)ステビアの花



北ゾーン ウコンの栽培風景



北ゾーン ウコン畑の女性方⇒ありがとうございます

ウコンの収穫作業

大月市富浜町・野草のさと

③-2 PRポイント

「花咲か爺さんシリーズ」での広大な花の景観。地域の自慢のスポットに発展中。

景観⇒地域の花と友に



東ゾーン 地主さんの庭の風景です

中央ゾーン
キュウリの花です
⇒



東ゾーン 縄文庵(亀井所有)の風景(集いの館)で来られる方が増加中です



中央ゾーン 日本の秋から冬は塞翁です！紅葉と落ち葉、キノコのコンビネーションですね！

③-3 サラダ狩り(有機肥料&農薬無使用栽培でサラダ食材:健康野菜を展開)

- ・ ミノトマト・キュウリ・ナス・じゃが芋・さつまいも・玉ねぎ・インゲン等
- ・ 約4000人が首都圏から観光バスにて毎年来園。

観光バス対応風景 ⇒ 実はこの日は10分前まで夏の雷と豪雨でした。でも野菜をお持ち帰り頂きました。また「お土産野菜」も・・・そして、「また来よう」と言われ感激でした!!



景観⇒観光客と友に



中央ゾーンサラダ狩り(収穫体験) ご案内の一コマです



中央ゾーンサラダ狩り(収穫体験)の一コマです

③-4 食で健康(健やかな幸福)を皆様へ

- ・ 収穫野菜の観光バスへの「農家健幸弁当」ブランドでの年間5000食を突破



「地元の健康野菜&季節の野草」を活かしたこだわり弁当

一 桃太郎弁当

「地域のベテラン主婦による仕込では、味付けに新鮮さと旨みがたっぷり」

景観⇒農家健幸 食と友に



「農家健幸レストラン」にて営業許可取得

西ゾーン レストランで農家健幸弁当の仕上げ風景



桂川ウェルネスパーク きび団子汁(大月桃太郎伝説)の販売風景



北ゾーン 農家健幸弁当の食材の栽培風景

④-1 業務用農産物の栽培及び出荷

秋(6月~10月)
・ 玉ねぎ⇒石井食品イシイのハンバーグにて販売

◆ 大月ブランドのハンバーグの開発⇒山梨県内72店舗にて季節限定販売(2万個~3万個)

石井食品(株)オーナーの石井健太郎会長とツーショット⇒とても博識で楽しい方です。意見バツリ合います!



野草のさと大月メンバーによる「石井食品(株)千葉八千代工場」への工場見学です。万障お繰り合わせ頂き、オーナー自ら、会社案内と経緯をアナウンス頂きました。

景観⇒石井食品と友に



石井食品出荷用玉ねぎです

南ゾーン 石井食品出荷用玉ねぎの生育状況です

中央ゾーン 京王観光 バス観光客体験用玉ねぎ



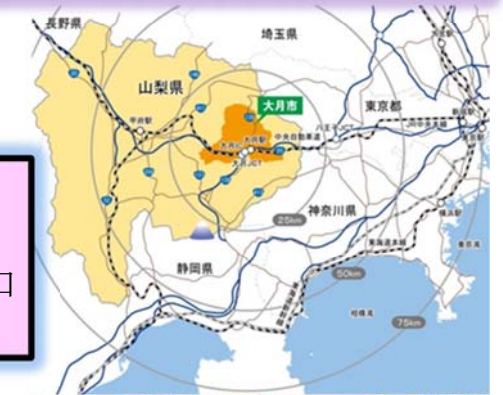
野草のさと大月メンバーによる「石井食品(株)千葉八千代工場」への工場見学です。広報担当の方からのご案内を頂きとても参考になりました。

④-2 着地型観光で全国&世界へ発信

集客

◆ 観光⇒体験⇒週末移住⇒移住(リンケージ人口は今年1万人見込み、来年目標2万人、5年後10万人へ)人口の増加を展望。

景観⇒都市と地方が友に



景観
↓
交流人口の増加



インバウンドの方も増加中



子供達だけでも農業体験



畑の中でもネクタイなど大好評



中央高速PAでも販売が人気中